

フレッシュマン・オカザキのインド通信

今後のインド経済の行く末は…

お世話になっております。

「ナレンドラ・モディ首相率いるインドでは、金正恩体制下の北朝鮮よりも多くの子供たちが飢えている。」

何気なくネットニュースを見ていたらとんでもない文字が飛び込んできました。国際食料政策研究所(IFPRI)がまとめた「世界の飢餓指標(Global Hunger Index、GHI)」ランキングによると、119か国のうち、インドは北朝鮮より7ランク下の100位だったようです。確かにインドは経済成長が急速に進んでいるとは言っても、一部の大都市以外では貧困が大きな問題となっています。それにしても、北朝鮮よりも多くの子供たちが飢えに苦しんでいるとはとても衝撃的です。



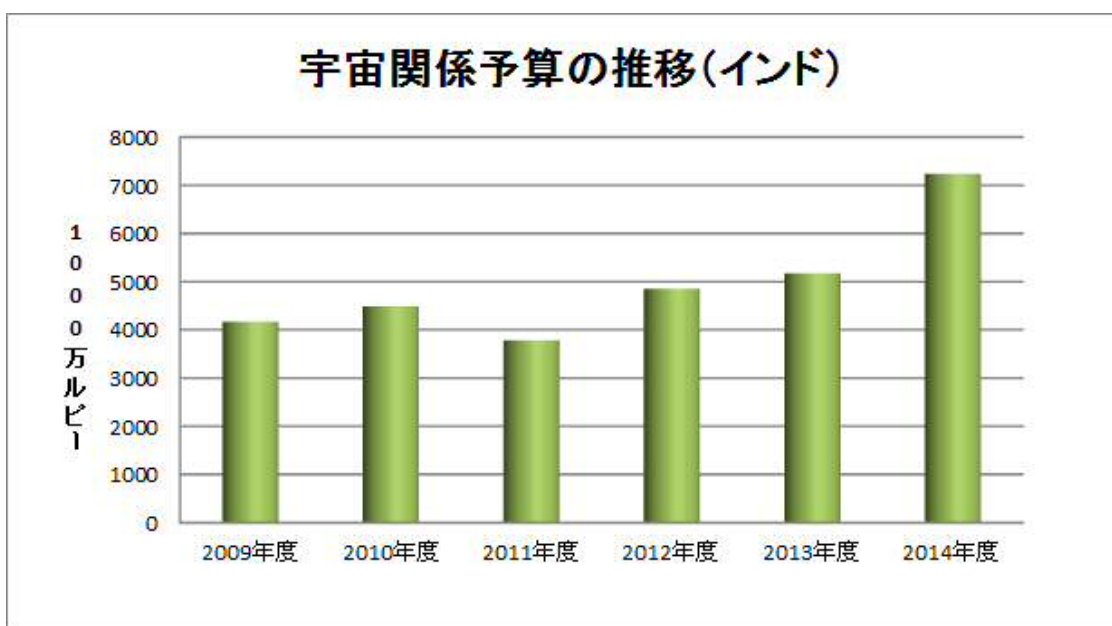
このランキングは、栄養不良の人の割合と5歳未満の子供のうち痩せすぎ、または発育阻害の状態の子供の割合、乳児死亡率に関する評価に基づいています。

今回の順位は潜在化していた大きな問題の一つとして浮かび上がってきたと

いえます。モディ首相の高額紙幣廃止や GST 導入等の経済政策は、貧困問題に対する実質的な効果を上げていない事と直結します。専門家は「解消されない貧困と腐敗の問題は、新興市場の成長と株価の上昇を足止めさせる原因になり得る 2 つの重要な要素」と警鐘を鳴らしています。貧困だけでなく腐敗も横行しているインドにとってはとても耳の痛い言葉でしょう。

また、この問題は所得格差の拡大という更に大きな問題の一部でもあります。インドの所得格差については、フランスの経済学者トマ・ピケティの著書によると、現在の格差は英国統治の時代よりひどいとも指摘されています。実際のところ、インドの上流・上流中産階級にとって、子供の健康と栄養状態や教育が最優先課題として認識されていないと言えるのかもしれませんが。モディ首相は演説で 2022 年までに子供の栄養失調の問題を解消するとの目標を掲げていますが、実際に私たちが目にするインドのニュースと例えば、日本の新幹線を導入するだとか、火星に向けて宇宙船を打ち上げる事など、国の栄光に関わる表面的な事柄ばかりのような気がします。

宇宙関係予算の推移(インド)



しかし、こうした考え方は一部の人たちの宗教的信条に関わっている可能性もあると言われてしています。宗派にもよりますが、ヒンドゥー教では人間の置かれた状況について、宿命として語る人が多いのです。「ただ神々を幸せにすればいい。そうすれば死後、より良い人生を送れる人に生まれ変わる。たった今の人生をより良くすることには、あまり大きな関心は持たれないのだ。」という倫理観がある為、生活の向上をさほど重視せず現状を受け入れて抵抗しない生き方が根付いているのかもしれませんが。そんな中、モディ首相はどのようにこの問題に対して解決策を投じていくのか、とても注目されるところです。

すみません、後半はほとんど私の個人的な見解になってしまいました…(笑)

しかし、インドの方と接していると、そうした考え方が根付いていてもおかしくないと思えてきてしまいます。インドに行くと人生観が変わる！と言われてるのは、こうした考え方の違いがあるからなのかもしれません。

度々すみません、最後はポエムのような締めになってしまいました…(笑)

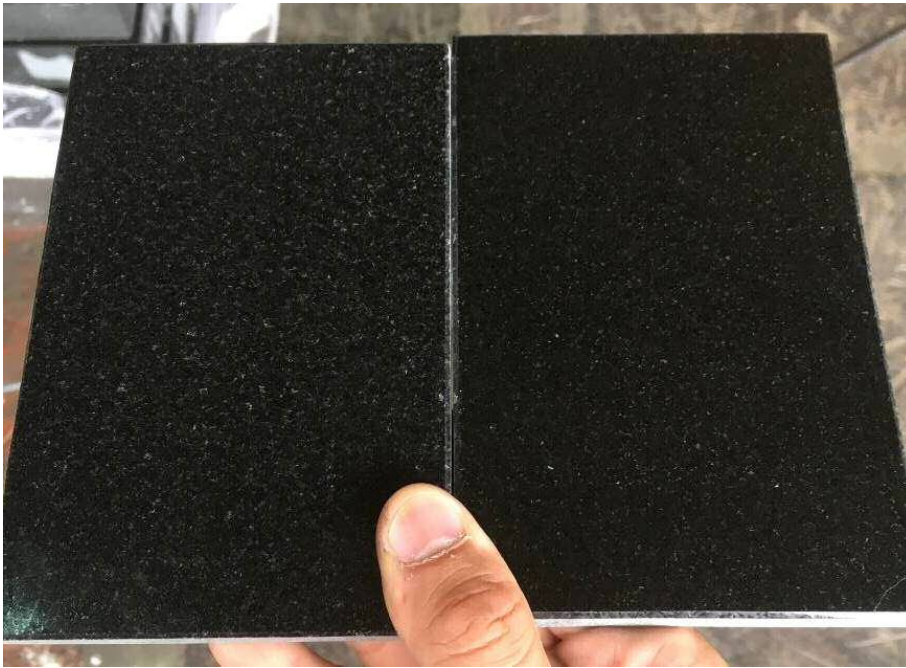
インド加工、最新石種情報！

さて、気を取り直してインド工場の注目新石種をご紹介します！

インドの各丁場が不安定な状況にある中、新しい石種も次々と開発されています。その中から選りすぐりの石種を皆様にご提供致します！

以前より取り扱いをしていた安価黒石種の CN-1 ですが、実は少し前まで山キズが大量に出ていて敬遠されておりました。しかしつい最近石質の良い層に入ったようで、キズの問題が解消され、色が非常に濃くなりました！

↓以前の石との比較写真です。左が以前のサンプル、右が新しいサンプルです。



写真でもわかるほどに色が更に濃くなっているのがお分かり頂けるかと思
います！弊社協力向上は原石ではなく1面 or2面を切削したスラブ材を購入
しているため、キズ等の大きな問題を省いた上で購入する事が出来ます。
サイズも安定して大きいブロックが取れるようになったので、スラブ材での
ご使用もお勧めです！

M-IH R

以前にもご紹介した事のある M-IH の副丁場の石です。本家に劣らず緑が
とても濃いのですが、なんととっても **お値段が安いです！**本丁場の石は欧米
需要が増加した事が影響し、中国工場の製品単価は値上げ、原石は少量では
譲ってもらえない状況が続いております。また、以前の緑色が濃く特徴ある
本丁場 M-IH も採掘が進むにつれここ数年で目合いが若干変わってきており、
私たちの知る M-IH とは少し離れてきてしまっています。

しかし、M-IH R は以前の本丁場の石と良く似ており、非常に綺麗です。

↓写真がこちらです。



特徴のある緑手の粒子がやはり M-IH と言ったところかと思います。地色は本家と比べると若干薄く粒子は少しばかり粗いのですが、なんと言っても単価的メリットが大きいです！是非一度お見積り下さい！

PBL(ペランバルール)

高級糠目系黒石種です！LK-01 がキズの問題から本丁場が停まってしまいましたが、PBL は同じ糠目系でも産地は KNM などと同じタミルナドゥ州なので、その心配はご無用です。また、単価的にも LK-01 より安いので非常にお得感があります。以前から中国市場にも PTR 等の名前で出回っていますが、最近になって白玉などの問題も解決され更に魅力的な石種になってきました！インド加工なら新しい原石を常に購入しているので、より良い石質の製品が手に入ります。

↓非常に細かく綺麗な糠目ですが、少し茶目があったところがクンナムの要素を少し持っていると言えるのかもしれませんが。



↑かなり明るさを上げて撮影していますが、とても濃い色です！

以上、インド加工お勧め石種のご紹介でした。

[お見積りやサンプルのご用命などあれば、弊社営業員までご連絡下さい！](#)

それでは今月はこのあたりで失礼いたします。

最後まで読んで頂き、有難う御座いました！

2017/12/01 岡崎